

里山ボランティア通信

2019年 2月号

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかけわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



オオイヌノフグリの可憐な花

2月2日(土) 寒中味噌づくりイベント!

味噌づくり：里山では手前味噌を食べています!



2月9日(土) 通常活動!

小屋の修理、ログハウス、ツリーハウス補修



2月16日(土) 通常活動!

ログハウス、会員活動準備



2月23日(土) 森の楽校!

竹のジェットコースターづくり、ログハウスづくり



これからの活動予定

■これからの主な活動

3月2日(土)	ボランティア活動
3月9日(土)	ボランティア活動
3月16日(土)	ボランティア総会・研修会
3月23日(土)	森の楽校(会員・一般)
3月30日(土)	ボランティア活動

- ・ 3月、平成30年度の最終月になります。
- ・ 1年間、いろいろな活動ができましたね。事件としては、なんと、熊の出没で休園にもなりました。
- ・ しばらく使用禁止にしてきた里山のツリーハウスや冒険遊び場は、使い方や管理の仕方などの研修や補修を行って、春からは再び、使えるようになります。